

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習V	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	石岡和志・白男川 尚	開講期	4年後期	単位数 1

【授業の主題】

相談援助に係る知識と技術について相談援助実習における学生等の個別的な体験も視野に入れつつ、集団指導並びに個別指導による実技指導を行い、実践的な知識と技術として習得できることを目指す。

【達成目標】

相談援助に係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として習得できることを目標とする。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーションとグループ決め
- 第2回 実習での学びを振り返る・活かす①
- 第3回 実習での学びを振り返る・活かす②
- 第4回 実習での学びを振り返る・活かす③
- 第5回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす①
- 第6回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす②
- 第7回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす③
- 第8回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす④
- 第9回 利用者を理解し、ニーズを把握し、支援すること①
- 第10回 利用者を理解し、ニーズを把握し、支援すること②
- 第11回 スーパービジョン
- 第12回 人と環境の接点・相互作用
- 第13回 社会福祉士の専門性と社会福祉援助に関わる他の専門職について
- 第14回 ソーシャルワーカーの価値（倫理・理念・原則等）
- 第15回 振り返り

【授業実施方法】 演習

【授業準備】 関連する科目の講義内容で学んだ制度等を再確認しておくこと。

【主な関連する教科】 ソーシャルワーク論 I～V

【教科書等】 日本社会福祉士養成校協会『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版

【参考文献】 その都度紹介する。

【成績評価方法】 課題提出 20%、授業態度・出席状況 80%より総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

実習等で経験してきた様々な援助場面を振り返り、社会福祉士の専門性について、実習での学びと経験を活かして、現実と課題について考えられることが将来の進路とも繋がってきます。グループ討議や事例検討を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。